

「申告添付業務総合運転試験」実施要領

平成25年7月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

目 次

I	通関関係書類の電子化運用開始までのスケジュール	2
II	総括編	3
1	目的	3
2	対象者及び対象業務	3
3	試験環境	3
4	総合運転試験内容	4
5	配付資料	4
6	申告添付業務総合運転試験前における事前準備等	5
7	業務処理等の正常処理の確認	5
8	異常時の対処	6
9	パッケージソフトのアンインストール	6
10	留意事項	6
11	申告添付業務総合運転試験に関する問合せ先	7
12	その他	8
III	期間 I・II 実施内容	9
1	目的	9
2	対象者と対象業務	9
3	実施日程	9
4	業務処理の確認及び実践練習	9
5	実運用に即した業務運用確認(導流確認)	10
6	業務処理確認時における留意事項	10
7	期間 I・II におけるシステム環境	10

「申告添付業務総合運転試験」実施要領

I 通関関係書類の電子化運用開始までのスケジュール

		NACCSセンター	お客様
7月	中旬		
	下旬	総合運転試験説明会	
8月	上旬		
	中旬	試験用パッケージソフト 掲示板掲載	試験用パッケージソフトのインストール及び各種設定 8/16 netNACCS利用申込・試験用デジタル証明書申込期限
	下旬	各種ID通知書の送付 (試験用デジタル証明書及び新規netNACCS)	
9月	上旬		
	中旬	9/9～18 申告添付業務総合運転試験	
	下旬		試験用パッケージソフトのアンインストール
10月		13日早朝 申告添付業務運用開始予定	

Ⅱ. 総括編

1. 目 的

申告添付業務総合運転試験は、平成25年10月の通関関係書類の電子化の円滑な運用開始に備え、事前に接続試験環境において新規業務のシステム処理の確認を実施していただき、

- (1) 新規業務の正常動作の確認
 - (2) 民間利用者システムと税関システムとの接続及び業務処理機能の確認
 - (3) 利用者の業務手順確認及び実践練習
- を行うことを目的として実施します。

申告添付業務総合運転試験は、申告添付業務を円滑にご利用いただくための大切な機会です。可能な限りご参加いただくようお願いします。

2. 対象者及び対象業務

(1) 対 象 者… 以下の利用者

- ・民間利用者(通関業者)
- ・行政機関利用者(税関)

(2) 対象業務… 通関関係書類の電子化に係る新規業務及び関連業務

※管理資料情報の作成及び取出しは実施しない。

3. 試験環境

実施環境(バックアップセンター)

4. 総合運転試験内容

申告添付業務総合運転試験は次の2つの期間に分けて、平成25年9月9日(月)から平成25年9月18日(水)までの間に実施します。

区 分	対象者	期間・時間	主 な 目 的
期間Ⅰ	全利用者	9/9(月)・9/10(火) 及び 9/13(金)～9/18(水) 9:00～17:00	①疑似データ及び自社データによる実践 練習 ②業務機能確認 ③業務連動確認
期間Ⅱ	全利用者	9/11(水)・9/12(木) 9:00～17:00	①疑似データ及び自社データによる実践 練習 ②業務機能確認 ③業務連動確認 ④実運用に即した業務運用確認

5. 配付資料

申告添付業務総合運転試験を実施する際に必要となる下記(1)(2)の資料について、以下のとおり提供します。申告添付業務総合運転試験の実施に必須の資料となりますので、確実に管理してください。

(1) 疑似データ

申告添付登録業務を行うために、先行して輸出入申告業務を実施していただきますが、貨物情報が登録されていないと輸出入申告業務を行うことができません。このため、あらかじめNACCSセンターにおいて、本番利用者コード単位に申告事項登録まで終了したデータ(＝疑似データ)を作成のうえシステムに登録します。本疑似データは以下の業務から申告番号を参照してご使用ください。詳しい実施手順は、「申告添付業務総合運転試験 参考シナリオ集」を参照してください。

※HFC・UEC(航空)・CTCについては、以下の照会業務から疑似データを参照できないため、あらかじめNACCSセンターにお問い合わせ願います。

IDI(輸入申告等一覧照会)

IES(輸出申告等一覧照会)

IUE(別送品輸出申告一覧照会)

(2) パッケージソフト

申告添付業務総合運転試験用として、本番業務に通関関係書類の電子化に係る新規業務を追加した申告添付業務総合運転試験用パッケージソフト(以下「試験用パッケージソフト」)を用意します。本パッケージソフトは平成25年8月中旬にNACCS掲示板に掲載しますので、利用者端末にダウンロードを行ってから申告添付業務総合運転試験を実施してください。

6. 申告添付業務総合運転試験前における事前準備等

(1) パッケージソフトのダウンロード

パッケージソフトを利用するお客様は、試験用パッケージソフトを、総合運転試験開始前にあらかじめ利用者端末にダウンロードしていただきますようお願いいたします。ダウンロード手順等については、「総合運転試験用パッケージソフトダウンロード手順書」を参照してください。

試験用パッケージソフトが正常にインストールされた場合は、画面上に「NACCSパッケージソフト〇〇方式 総合運転試験版」アイコンが表示されますので確認してください。

なお、試験用パッケージソフトをインストールした場合、接続先はデフォルト(初期設定)で接続試験環境(バックアップセンター)となるように設定が行われています。

(2) パスワードの確認

申告添付業務総合運転試験においては、本番用の利用者ID(利用者コード(5桁)＋識別番号(3桁))及びメールボックスIDを使用します。ただし、パスワードについては、平成25年6月5日(水)時点の本番用パスワードを以下のとおり変更し、申告添付業務総合運転試験用のパスワードとして使用していただきますのでご注意ください。

本番用パスワード	1 2 3 4 5 6 7 8
※本番用のパスワードの下3桁を「TST」に変更する。 	
申告添付業務総合運転試験用パスワード	1 2 3 4 5 <u>T S T</u>

※本番用パスワードが3桁以下の場合は末尾にTSTを追加。

(3) 業務仕様書等の確認

申告添付業務総合運転試験では、通関関係書類の電子化に係る新規業務を実施していただきますので、あらかじめNACCS掲示板に掲載している通関関係書類の電子化に係る各種資料及び業務仕様書等を確認してください。

(4) その他

申告添付業務総合運転試験における各種業務で入力する自社データ等の各種データについては、あらかじめお客様側でご準備いただきますようお願いいたします。

7. 業務処理等の正常処理の確認

申告添付業務総合運転試験では、各種オンライン業務の送受信処理の正常処理確認を行っていただきますが、それぞれ以下の点を確認することにより正常処理が行われたか否か確認していただくこととなります。

◎各種オンライン業務の送受信処理

各種オンライン業務の送受信処理を行った場合における正常処理の確認は、NACCSから

送信される「処理結果電文の処理結果コード」により確認してください。受信した処理結果コードが、次のとおりであれば、正常に終了したこととなります。

自社システムの場合 :「00000-0000-0000」

パッケージソフトの場合:「COMPLETION」

なお、異常処理がある場合には、上記コードとは異なるエラーコードが返信されますので、当該エラーコードの内容を確認の上、訂正等の処理を行ったうえで、再度送信を行ってください。

エラーコードはパッケージソフトの「ヘルプ」→「業務メッセージ」から参照してください。

(注) エラーメッセージの内容を確認しただけでは対処方法が判らない場合は、適宜NACCSセンターにお問い合わせください(下記「11. 申告添付業務総合運転試験に関する問合せ先」を参照してください。)。なお、お問い合わせの際には当該エラーコードも併せてお伝えください。

8. 異常時の対処

エラーメッセージ等に基づき正しい入力を行ったにもかかわらず業務が正常終了しない、又は、業務処理の結果が業務仕様書と異なる場合等、通常の処理が行われなかった場合は、速やかに下記「11. 申告添付業務総合運転試験に関する問合せ先」へご連絡をお願いします。

また、その際には、業務を行った送信日時、処理結果コード、業務画面のコピー等の提出をお願いすることがありますので、あらかじめご用意いただきますようお願いいたします。

なお、業務処理以外に回線障害等を含む接続通信エラーが生じた場合も、上記の処理に準じて処理をお願いします。

9. パッケージソフトのアンインストール

試験用パッケージソフトについては、申告添付業務総合運転試験終了後、アンインストール作業を実施していただくことが必要となります。アンインストール手順等については、「総合運転試験用パッケージソフトダウンロード手順書」を参照してください。

10. 留意事項

(1) 出力帳票

申告添付業務総合運転試験期間中において、業務処理の結果出力される情報(帳票)は法的効力を有しません。

なお、パッケージソフト利用者の場合、「輸入申告控」、「輸出申告控」等の出力帳票については、申告添付業務総合運転試験用であることを明確にするため、帳票上に「TEST」の文字が印字されます。

(2) 納付書・領収証書

申告添付業務総合運転試験用であることを明確にするため、納付書上に「TEST」の文字が

印字されます。出力した「納付書・領収証書」は、金融機関及び税関へ持ち込まないでください。

(3) 申告後訂正等の取扱い

申告添付業務総合運転試験において、申告後又は許可後の訂正については、税関の事前了解を必要としない取り扱いとします。

ただし、申告添付訂正業務(MSY01)は、本番同様の運用を想定し、事前に税関へ申し出た後に実施してください。

(4) 輸入申告時における納付方法の制限

申告添付業務総合運転試験期間中、輸入申告等に係る納付方法として「リアルタイム口座振替方式(ダイレクト方式)」及び「MPN利用納付」については対象外としますのでご注意ください(NACCS専用口座による口座振替又は直納のみご利用いただけます。).

(5) 接続試験環境における処理能力

接続試験環境は、本番環境とは異なるため、大量データを多量に送信された場合、オーバーフロー等が発生し、業務が遅延または実施できなくなるなどの事象が引き起こされる可能性がありますのでご注意ください。

11. 申告添付業務総合運転試験に関する問合せ先

問合せ先			問合せ可能時間
システム部システム総括課	【メールアドレス】 tmptst@naccs.jp		各実施期間中 終 日
	【TEL】 03-5460-0902	【FAX】 03-5460-0925	各実施期間中 月曜日～金曜日 (祝祭日を除く) 9:00～17:00

(注1) お問合せの際は「申告添付業務総合運転試験」に係る相談である旨を明確に記載又はお伝えください。

(注2) 申告添付業務総合運転試験期間中、センター側システムにおいて障害が発生した場合、障害の状況によっては終日試験が行えない場合も考えられます。センター側システムの障害状況等の詳細については、NACCS掲示板に掲載しますので、同掲示板を確認してください。

(注3) 本番環境にトラブルが発生した場合は、当該対応を優先しますので、申告添付業務総合運転試験の対応が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。

12. その他

- (1) 本試験実施期間中(平成25年9月9日(月)～平成25年9月18日(水))において、17:00以降に本試験対象業務を実施することは可能です。ただし、税関開庁時間外の申告等はエラーとなりますのでご注意ください。
- (2) 通関関係書類の電子化に関する各種情報については、NACCS掲示板に掲載しておりますので参照してください。

Ⅲ. 期間Ⅰ・Ⅱ実施内容

1. 目 的

- (1) 疑似データ等による通関関係書類の電子化に係る業務の実践練習及び利用者システムの機能確認を行います。
- (2) 過去の実績データ等(自社データ)を使用し、上流業務から下流業務までデータが正しく流れることを確認する導流確認を行います。

2. 対象者と対象業務

- (1) 対 象 者 通関業者(自社通関を行う輸出入者を含む)、税関
- (2) 対象業務 通関関係書類の電子化に係る新規業務及び関連業務
ただし、次の業務を除く。
 - ① 利用者設定情報登録業務
 - ② MPN関連業務
 - ③ 手数料電子納付業務
 - ④ 自動起動処理(ただし、開庁時申告は登録可能とする。)

3. 実施日程

期間Ⅰ：平成25年9月9日(月)～9月10日(火) 9:00～17:00 及び

平成25年9月13日(金)～9月18日(水) 9:00～17:00

期間Ⅱ：平成25年9月11日(水)～9月12日(木) 9:00～17:00

※ 本試験期間における税関開庁時間は実運用と同様とします。

4. 業務処理の確認及び実践練習

(1) 疑似データの使用

NACCSセンターが登録した疑似データを使用し、「申告添付業務総合運転試験 参考シナリオ集」に基づき、必要な業務入力を行い、業務処理が正常に処理されているか確認を行ってください。

なお、本試験期間においては、疑似データは初日の平成25年9月9日(月)に一度だけ設定しますので、一回に限り使用できます(同一疑似データの反復利用は不可となります。)

(2) 自社データの使用

過去に取り扱った実績データ等の自社データを使用して、各業務の実践練習等を行うことも可能ですが、審査区分が「1Y」または「2」以上にならない場合は申告添付業務を実施することができません。自社データを使用する場合であっても、審査区分が「2」になるよう設定された疑似の輸出入者コード(P002A2220000)を使用してください。

(3) 各種照会業務等

疑似データ及び自社データで登録した業務については、各種照会業務、再出力業務等を行うことが可能となっています。

5. 実運用に即した業務運用確認(導流確認)

期間Ⅱにおける導流確認では、通関業者と税関で連携して業務を実施し、データ処理が正常に行われるか確認します。

①通関業者は審査区分が「2」以上となった輸出入申告に対し、以下(A)の時間帯にMSX業務及びMSY01業務を実施してください。

②税関は、(A)の時間帯に実施されたMSX及びMSY01業務に対し、添付ファイルの取得を行い、各回(B)の時間帯において審査終了業務を実施します。

<審査終了対応表>

	添付登録時間帯(A)		審査終了時間帯(B)
1回目	9/11(水)9:00～12:00	⇒	9/11(水)13:00～14:00
2回目	9/11(水)12:00～ 9/12(木)12:00	⇒	9/12(木)13:00～14:00

6. 業務処理確認時における留意事項

(1) 税関による審査終了等業務

期間Ⅰにおいては、原則税関による審査終了等業務が実施されません。

期間Ⅱにおいては、税関による審査終了等業務が実施されます。税関における具体的運用は、以下のとおりとなります。

①税関は、前述5.「審査終了対応表」のとおり審査終了を行います。

②税関の対応時間外における審査終了等の業務は基本的に行われません。

(2) 税関開庁時間外関連業務

本試験期間中、税関開庁時間は現在の実運用と同様として設定してあります。

7. 期間Ⅰ・Ⅱにおけるシステム環境

基本的には、平成25年6月5日(水)時点の本番環境に登録されている情報を移行のうえ設定します。また、入力にあたっては、以下の点についてご留意ください。

(1) 為替等換算レート

本試験期間中に適用する為替等換算レートは、平成25年6月5日(水)時点の為替等換算レートを設定します。

(2) 適用税率等

適用税番・税率は、平成25年6月5日(水)時点の情報を設定します。

(3) 輸出入者コード

申告添付業務総合運転試験では、審査区分が「2」以上となる必要があるため、必ず審査区分が「2」になるようシステム設定した疑似の輸出入者を登録します。

◆疑似輸出入者コード:P002A2220000

(4) 関税等納付専用口座

申告添付業務総合運転試験では、本番で使用している口座及び共用の疑似口座のいずれかをご利用いただけます。各口座の概要は次のとおりです。

① 本番環境で使用中の専用口座

平成25年6月5日(水)時点で使用可能となっている口座を利用可能となるよう設定します。

なお、口座残高は、ダミー金額として一律9,999,999,999円を設定します。

② 全通関業者共用の疑似口座

本試験期間中、架空の輸入者の疑似口座を以下のとおり設定します。

疑似の口座の名義人は、架空の輸入者「P002A2220000」とします。

◆口座番号:00090017000001(名義人は架空の輸入者「P002A2220000」)

なお、口座残高は、疑似金額として一律9,999,999,999円を設定します。

③ 口座残高

本試験期間中、残高は積み増しされません。

④ 口座使用可能時間帯

本試験期間中は常に使用可能となるよう設定します。

(5) 据置担保

申告添付業務総合運転試験では、本番NACCSで使用している担保又は共用の疑似据置担保のいずれかをご利用いただけます。各担保の概要は次のとおりとなります。

① 本番環境で使用中の担保

平成25年6月5日(水)時点で使用可能となっている担保情報を移行のうえ、設定します。

なお、担保残高は平成25年6月5日(水)時点における本番環境での担保残高を設定します。

② 全通関業者共用の疑似担保

本試験期間中、全官署で使用可能な担保として、架空輸入者の疑似据置担保(一括)を以下のとおり設定します(提供原因はHEN/KEN/BPS/17M/TEN/19G/ OTHの設定となります)。

◆担保登録番号:1AP000002(担保提供者は架空の輸入者「P002A2220000」)

なお、担保残高はダミー金額として9,999,999,999,999円を設定します。

③ 担保残高

本試験期間中、残高は積み増しされません。

(6)船舶基本情報

平成25年6月5日(水)時点で本番環境に登録されている船舶基本情報、及び試験用の疑似の船舶基本情報を設定します。

◆疑似船舶基本情報

船舶コード:JNACM01

船名:FUNAGAISHA-TMP(NACCS)

船会社コード:TMPM

(7)機用品品名

平成25年6月5日(水)時点で本番環境に登録されている機用品品名、及び試験用の疑似の機用品品名を設定します。

◆疑似機用品品名(輸入者TP[受託A/Lコード]に対し設定):

A011、A561、XY71、QH81、QLT1

(8)フライト

平成25年6月5日(水)時点で本番環境に登録されているフライト情報を設定します。

(9)輸出入承認証等識別

自社通関の申告では7.(3)疑似輸出入者「P002A2220000」が使用できないため、審査区分が必ず「1Y」となる疑似輸出入承認証等識別を設定します。

◆輸出入承認証等識別者コード:TEST

(10)本試験期間中のバックアップセンターでのデータ保存について

本試験期間においては、試験開始日(平成25年9月9日)にシステムを初期状態に設定しますが、当該初期設定の情報は試験最終日(平成25年9月18日)まで継続利用をしていただくこととなります。